**44　基幹統計**

**問題１**

国勢調査については140ページ、国民生活基礎調査、患者調査、学校保健統計調査、医療施設調査については162ページから記載してある。

1. 2. 通院者率、有訴者率は国民生活基礎調査の内容である。
2. むし歯（う歯）の被患率は学校保健統計調査の内容である。
3. がんの患者さんの推定人数は患者調査のほか、国立がん研究センターのがん登録・統計などで調べることができる。
4. 平均睡眠時間は社会生活基本調査などの内容である。

**解答**　２，３

**問題2**

1. 国勢調査は代表的な人口静態統計である。
2. 国民生活基礎調査は標本調査である。
3. 人口動態統計は1年ごとに集計される。（速報や月報は1年を待たずに公表されている。）
4. 医療施設調査には静態調査と動態調査がある。

**解答**　4

**問題３**

患者調査については163ページから記載してあるが，詳しい内容は国民衛生の動向などを参照すること。（以下の解説は2017年の統計について）

1. 年齢階級別受療率について，外来受療率のピークは80～84歳，入院受療率は90歳以上である。
2. 外来患者数では，65歳以上の人が約半数を占める。
3. 傷病分類別の外来受療率は，「消化器系の疾患」が最も高い。
4. 傷病分類別の入院受療率は，「循環器系の疾患」の方が「新生物」よりも高い。
5. 入院患者において「受け入れ条件が整えば退院可能」の割合は，年齢階級が高くなるに従って多くなる。

**解答**　２，5

**問題4**

有訴者，通院者の状況について，性別，年代別の特徴を調べてみよう。

国民衛生の動向や，厚生労働省のウェブサイトからデータを参照できる。

例として、性別，年代別の有訴の症状の状況をグラフに表してみる。

グラフ作成例





**問題5**

入院・外来受療率について，性別，年代別の特徴を調べてみよう。

164ページに受療率について記載した。国民衛生の動向や，厚生労働省のウェブサイトからデータを参照できる。

